

# 九度山民報

## ごみ収集について 資源ごみ「プラ製容器 包装」の収集回数増を

### ●町民の声

先日、ごみ収集のごとである地区の住民の方と話をする機会がありました。その時に出た話は、「プラ製容器の収集回数を増やしてほしい。プラ容器はかさばるので、置くところのが大変。月1回収集では少ない。」というものでした。このことについてさらに意見を聞いてみました。「家族数が多い世帯や育ちざかりのごともがいる世帯は、量が多いので大変」という意見もありました。みなさんご存知のようにプラ製容器包装（以下、プラ容器）の収集は月1回です。このことについて考えてみました。

### ●現状はどうなっているのか

まずはごみ収集の現状を調べてみました。次の表をご覧ください。（数値は2011年度実績）  
上の表は、各市町の可燃ごみとプラ容器の回収回数です。下の表は、可燃ごみとプラ容器の処理場への搬入量（上の数字）とごみ全体に占める割合（下の数字）です。

プラ容器の回収回数は、近隣自治体と比べて少ないことがわかります。ごみの搬入量を見てみると、九度山町は可燃ごみの割合が近隣市町



エコライフ紀北

と比べ高く、プラ容器の割合が低いことがわかります。

分別区分	九度山町	橋本市	かつらぎ町
可燃ごみ	週2回	週1～2回	週1～2回
プラ容器	月1回	週1回	月2回

分別区分	九度山町	橋本市	かつらぎ町
可燃ごみ	<b>847.38 t</b> <b>89.1%</b>	14,716.70 t 84.8%	2,856.63 t 78.6%
プラ容器	<b>18.35 t</b> <b>1.9%</b>	472.15 t 2.7%	133.33 t 3.7%

### ●分別収集を進めよう

九度山町において、可燃ごみの割合が高く、逆にプラ容器の割合が低くなっている理由は、詳細に分析する必要があるでしょう。よって

この結論を出すことはできません。しかし、考えられる事はあります。「プラスチックの回収回数が少ないので、プラスチックを（燃えるゴミとして出しているのでは）」という住民の声です。

結論づけることはできませんが、プラスチックの回収回数が少ないことが、九度山町においてゴミ全体に占めるプラスチックの割合が低い原因になっていることも十分考えられます。

### ●「ゴミ処理場を見学」

去る3月1日、4日、橋本周辺広域ゴミ処理場「エコライフ紀北」施設見学会が九度山町住民課の主催でおこなわれ、私も参加しました。

この処理場において、資源ゴミは資源物として分別、再商品化されて再処理業者によって回収されています。資源物や再商品化された資源ゴミの量に応じて各自治体に売却収入の返還があるということです。分別収集を進めて可燃ゴミを減量し、資源ゴミを増やせば、各自治体の負担する焼却費用が減り、逆に返還金が増えるということです。

橋本周辺広域市町村圏組合は、「ゴミ処理基本計画」を策定し、ゴミの発生抑制、減量化、再資源化を進めています。九度山町においても町独自の施策で啓発活動を行うこととなります。

### ●共産党九度山町支部の提案

日本共産党九度山町支部は、次のように提案します。

町民の生活の利便性向上のために資源ゴミ「プラスチック包装」の回収回数を増やすこと

\*\*\*

回収回数を増やすことによりプラスチックの分別が進むことが期待できます。それにもない、ゴミ処理に係る経費の改善も期待できます。

### ●町に要望書を提出

日本共産党九度山町支部は、本件について5月13日、岡本章九度山町長宛に「要望書」を提出しました。

この問題は、生活に密接に結びついている問題です。プラスチックの回収回数だけでなく、分別収集の方法やゴミ回収の有料化など考えなくてはいけない問題がたくさんあります。この問題について日本共産党九度山町支部は、町民のみなさんとともに考え、行動していきたいと思っております。

日本共産党九度山町支部

町政対策委員長 伊丹俊也



九度山民報5月号（復刊通算5号）

2013年5月13日発行

編集・発行 日本共産党九度山町支部

《連絡先》 伊丹俊也（九度山・広良）

TEL&FAX 0736-26-7382

\*\*\*